【テーマ】情報通信技術（ICT）の教育・学生生活への活用　　【カテゴリー】③（教育方法）

【学校概要】地域医療機能推進機構（JCHO）大阪病院附属看護専門学校：3 年課程　1 学年定員 40 名　修業年限 3 年　　所在地：大阪市福島区福島 4－2－78



学生は荷物が多い…何とかならないか？電子教科書を導入する？
けど、iPad の購入は学生には負担？？

【内容】 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、オンライン授業が盛んになった。そこで、学生のよりよい学びに向け、学内で情報通信技術（以下 ICT）の整備に努めた。

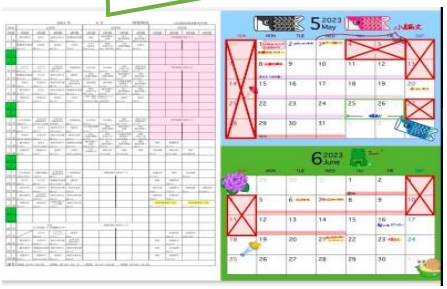
	授業	TEAMS の活用	その他
2020 年 Wi-Fi 環境なし。 オンライン授業はスマートフォンのテザリング機能で行う。 通信トラブルが多く、その対応に苦慮。10 月に 1 階教務室・2 階の各学年の教室に Wi-Fi を整備。しかし、学生への開放はなし。 オンライン授業の導入	COVID19の流行拡大に伴い、オンライン授業を導入、電子教科書の導入を検討を本格的に開始。	オンライン授業の実施に伴い、学習管理システムを検討。安全性を考慮し、「MicrosoftTeams」を導入。 MicrosoftTeamsは授業や授業アンケート、連絡事項の伝達に使用。	オンライン授業の対応は教員が実施。 通信トラブルや画面の共有が上手くいかず、授業時間をロスしてしまうことも。
2021 年 学生に Wi-Fi を開放。 教室以外に、視聴覚教室や体育館の Wi-Fi 整備を行い、学校ではほぼ利用が可能となる。 対面授業・オンライン授業を組み合わせて実施。 実習も学内や自宅でという状況が発生。	この年の新入生より、電子教科書を導入。 授業資料は紙で配布。電子教科書と紙媒体を併用。 各講師に対し授業資料のデータ化について説明するが、承諾を得られない場合もあった。 学生は紙の授業資料は各自でiPadに取り込み使用している状況であった。	授業内での小テストの実施・課題のやりとり・グループワーク・教員とのチャットでのやりとりなど、様々な場面で活用。 自宅で実習となった場合は、DVD等の視覚教材の共有を行い、事例展開を行った。 授業や実習は、MicrosoftTeamsを用いてハイブリッドで対応。 教員も状況に応じて、在宅ワークを取り入れた。	全教員へiPadを配布。 オンライン授業の設定や、授業中の通信トラブルへの対応を学生で担えるように、クラスにICT委員を設置。 学生間でノートアプリを用いてノート作成。先輩・後輩間で教え合い、交流に繋がる。
2022 年 学生への情報リテラシー教育を強化し、データの使用についての承諾書を導入。 講師へも電子教科書の使用や授業資料のデータ化について説明し、ペーパーレスを目指す。	授業資料はほぼデータ化して配布。実習に関するものは紙媒体で運用中。 演習では、各自がiPadを用いて自己の実技を撮影し振り返りを実施。また、学生個人で実施場面を撮影し、看護技術の評価を動画で行う等、積極的に動画撮影を活用。 模擬カルテを導入。自宅でも事例展開が可能に。	学生への伝達事項はほぼTEAMS上で行う。 登校しなくても、教員と面談や指導などでチャットを活用。時間を有効活用。 アンケートはMicrosoftFormsで実施し、集計まで実施。	「YouTube」を開始。それに伴い、クラスに広報委員を設置し、動画撮影は学生に依頼。
2023 年 COVID19 が 5 類へ移行 全学年に電子教科書が導入となり、ほぼペーパーレスの状況となった。 実習記録は紙媒体で運用中。	発表資料など、iPadで画面共有しながら作成をすすめ、時間を有効活用。 学生はノートアプリを用いてノート作成や資料整理を工夫。		「Instagram」を開始し、広報活動を強化。 教務会議・病院との会議はiPadを活用し、ペーパーレスを目指す。

SDGS も意識し、ICT 推進中



授業資料にテキストを取り込み貼り付け、わかりやすいよう工夫ができる！

iPad で時間割・自己のスケジュールが一目瞭然！





授業資料は【推し】で整理し、やる気アップ!!